

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年8月24日

施設名	高知県立ふくし交流プラザ	所管課	地域福祉部地域福祉政策課
-----	--------------	-----	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	1 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し） 2 県民に対する介護講座事業の実施 3 福祉用具の調査研究、展示、試用貸出、収集及び保管管理 4 ふくし交流プラザふれあいショップの運営 5 自主提案事業 <令和元年度> 1)シルバー手づくり展開催事業 2)障害児支援に係る事業(障がいキッズ&パパママ応援事業) 3)障害児・者の職場体験の受入れ		
施設内容	施設名:高知県立ふくし交流プラザ 設備:1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場(普通車で236台/無料)完備 面積:【土地】7,570㎡ / 【建物】7,965.24㎡(延べ床面積) 利用時間:9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする) 休館日:毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日 貸室:各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり		
職員体制	常勤職員:3人 非常勤職員:5人 合計:8人		

2 収支の状況

(単位:千円)

		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)
収入	県支出金	62,992	64,205	64,205
	使用料・手数料	12,940	14,085	14,680
	負担金	7,758	7,269	7,495
	その他	1,098	1,574	1,689
	収入計 (a)	84,788	87,133	88,069
支出	事業費	4,661	4,680	6,278
	管理運営費	49,879	51,756	49,511
	人件費	26,491	24,913	32,280
	その他	0	1,500	0
	支出計 (b)	81,031	82,849	88,069
収支差額(a)-(b)		3,757	4,284	0

3 利用状況

	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	67,341	68,234	75,000
②利用者意見等の反映	○貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:令和元年度:意見・苦情 4件。		
	○事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:講座受講者のニーズを把握し、事業企画に反映している。		
	○利用者意見等を踏まえた対策 対応可能な意見等については、速やかに対応することとしている。		
③その他特記事項			

4 令和元年度業務評価

項 目		評 価	状 況 説 明
効率的な 運営、 サービスの 向上、 施設、設 備の管理	適正な管理運営 の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画及び危機管理マニュアルを整備して定期的な訓練を実施し、緊急時に速やかに対処できる体制を整えている。 また、南トラ地震に備えたBCPを策定(R2.3)し、災害時の行動マニュアル等を整備できている。 ・施設の維持修繕について、建築設備の定期点検や保守点検のほか、排煙窓や防火扉等の修繕等を実施している。 ・駐車場の混雑が予想される場合は、シルバー人材センターからの要員派遣や看護協会等駐車場の借入、(主催者あてに)参加者同士の乗り合わせ来場を予め依頼することにより、駐車場整理や不足分の確保など利便性の向上に努めている。 ・貸室全体の利用日数は延べ1,715日でH30年度より26日(1.5%)増加した。また、利用者数は延べ68,234人で、H30年度より893人(1.3%)増加した。利用料収入は、14,085千円で、H30年度から1,145千円(8.8%)増加した。 ※新型コロナウイルス感染症対策による研修室等の貸出停止期間:3/2~3/31
	利用者サービスの 維持向上		
	利用実績		
	収支の状況		

福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験、車いす体験、テーマ別の介護講座など、高齢者、障害者、介護者への理解及び支援等の講義や演習等を実施し、広く県民に福祉への啓発を行った。
	福祉用具の展示及び管理		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の相談については、専門知識を有する専門相談員を配置し、県民への相談助言体制を整えている。福祉用具の利用貸出は1,122件で、H30年度より28件減少した。機器の入れ替え等が課題。
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー手づくり展(年3回(2日セット、6日)、延べ約2,100人)を開催し、高齢者の健康・生きがいづくりに寄与した。
	福祉を担う人材の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の福祉機器展以外にも、障害のある子ども、家族、その他関係者等を対象とした障がいキッズ&パパママ応援事業等を開催し、制度や最新の支援機器の情報の提供、相談窓口の設置等により、支援者・家族の交流の場づくりを行った。
	関係機関等との連携・協力による、福祉の振興		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校や障害者就労支援事業所と連携し、障害児・者の就労及び社会参加につながる職場体験の受入れを行った。

項 目	状 況 説 明
総合評価	<p>・高知県社会福祉協議会による管理は第3期、12年目となり、ノウハウも一定蓄積し、高知県社会福祉協議会の持つ幅広いネットワークを生かした運営が行われている。</p> <p>・運営に対する利用者からの意見を収集するための意見箱の設置など、施設の利便性向上に向けた取組を実施し、速やかな対応が行われている。</p> <p>・施設の維持修繕について、計画的に実施し改善を図っている。今後も引き続き法定点検の適切な実施や施設の計画的な維持修繕の実施など、適正な施設・設備の管理を求める。</p> <p>B</p> <p>・イベントが重なり駐車場が不足する見込みがある場合は、参加者に乗り合わせ等を依頼、看護協会等の駐車場の借り入れ、警備員の増員等により対応を図り、利便性の向上に努めている。また、H31.1月より第6駐車場(高知市借入)を整備したことにより、駐車場が不足することによる利用予約のキャンセルが減少傾向にある。</p> <p>・利用料金収入については、新型コロナウイルス感染症対策による研修室等の貸出停止により、3月の収入が減少傾向にあったが、年間の利用料金収入は前年度比8.8%の増加となった。</p> <p>・今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質向上に向けた取組の強化が必要である。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの